



# GP

全グラ情報

# JAPAN



## 間違っていますか。日本の「claim(クレーム)」「service(サービス)」「reasonable(リーズナブル)」

関東グラビア協同組合  
理事長 吉原宗彦



2026年は年始より様々な出来事が多く、あっという間に4カ月がたちました。1月3日、アメリカは米軍によるベネズエラの首都カラカスで、同国のニコラス・マドゥロ大統領とその妻を拘束するという前代未聞の軍事作戦を実施。1月23日には高市首相が初の女性総理誕生からわずか3カ月で衆議院解散、投票日は2月8日と戦後最短16日間の「超短期決戦」となり、結果は高市自民党が316議席獲得の歴史的な大勝利、「責任ある積極財政」を全面に経済対策に乗り出しました。2月6日からはイタリアでミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが開幕、日本は冬季オリンピック史上最多の24個のメダルを獲得し、大変盛り上がりました。

そして2月28日、アメリカとイスラエルはイランに対して軍事攻撃を開始し、イラン最高指導者アリ・ハメネイ師の殺害をはじめ、ミサイル施設、核開発施設を攻撃、イランもペルシャ湾各地のアメリカ軍事基地、イスラエルをはじめ、周辺敵国への報復攻撃を行い、中東情勢は悪化の一途をたどっています。本原稿を執筆している4月1日の段階で、攻撃開始から1カ月以上が経過しましたが停戦に向けた協議はいまだ開催しておらず、世界情勢への不安がより一層強まっています。特にイランによるホルムズ海峡封鎖は、世界各国のほとんどの原油タンカーが足止め状態になり、エネルギー供給の減少、原油価格の高騰、ナフサ不足と多岐にわたる影響を世界経済に与えています。

日本におきましては原油の90%以上を中東から輸入しており、ホルムズ海峡の封鎖は「心臓直撃」とも言える深刻な影響を及ぼしています。我々のパッケージ製造に必要な原材料の大部分のものが原油から精製されるナフサ由来であります故、原材料の価格高騰、入手困難、あるいは入手不可の状態です。全国グラビア協同組合連合会といたしましても、3月末に田口 薫会長名にて「中東情勢悪化に伴うお願い」と題し、製品価格の改定、入手困難な原料の代替品の検討、受注納期の配慮のお願い文書を作成致しました。

今回の価格改定に関しましては、フィルム、インキ、溶剤、接着剤などの値上げ幅がこれまでとは比較できないほど大きく、また各企業にとりましても4月の給与改定にて社員への賃金アップが行われていると思いますが、それらに見合った価格転嫁がしっかり行われなければ企業へ大きな損失となってしまいます。お取引様各位におかれましては十分ご理解いただいたご対応を心よりお願いする次第です。

3月5日には第6回ワールドベースボールクラシック(WBC)が開催されました。日本は国内での1次ラウンドは難無く勝ち上がりましたが、決勝ラウンド初戦にてベネズエラに敗退、そのベネズエラが強豪アメリカに接戦の末、勝利し、見事初優勝に輝きました。

私は今回独占中継をしていました「Netflix」に加入しておらず、試合はダイジェストのみでの応援でした。ダイジェストは日本の試合は日本人解説者、アナウンサーによる日本語版でありましたが、それ以外の試合は現地英語版のみでした。そこでは四球「フォアボール」、死球「デッドボール」とは言わず、「walk」「hit by pitch」でした。

野球用語には和製英語が多くあると聞いていましたが、他にも「ナイター」は「nighth game」、「キャッチボール」は「play catch」、「ノック」は「fungo」、「ストレート」は「fastball」、「バックネット」は「back stop」、「フォークボール」は「splitter」、「スタメン」は「starter」などが正しい英語だそうです。日本人は英単語を組み合わせで日本人が解りやすく英語風新単語を作り出すことが大変上手であると思いました。一般生活でも和製英語が深く浸透、定着しています。

#### 【正しい英語】

イメージアップ	improve one's image
ベースアップ	pay raise
バックミラー	rear-view mirror
ベビーカー	baby buggy (赤ちゃん自動車ではありません)
フリーター	casual worker
ガソリンスタンド	gas station

また、間違って英単語が使われているものもあります。

	【本来の意味】	【正しい英語】
リベンジ	相手を攻撃して復讐する	retry/rechallenge
マンション	大邸宅	apartments
トイレ	便器	restroom
トランプ	切り札・奥の手	cards (大統領は米の切り札?)
リフォーム	改革・改正	renovation

このように、本来の意味と違って日常で使われている英単語は、我々が普段仕事をしている周りにも多くあると思いますが、私が特に使い方が大きく間違っているのでは？ という3つの英単語があります。

1つ目は「クレーム claim」です。本来の意味は「主張・要求」です。「苦情」のような意味合いは全くありません。「クレーム品」といえば、購入した製品に不具合や欠陥があり、製造者に対して損害の補償や改善を要求する品物の意味となっています。個人的見解ですが、日本は「お客様は神様です」という言葉が定着しすぎて、お客様の発した言葉は全て受け入れるという慣習があると思います。製品の品質に関するお客様の主張・要求「クレーム」は全て苦情 (complaint) であり、不適合品として受け入れ処理することが浸透し、「クレーム品」=「不適合品」となったのではないかと推測します。お客様のクレームは主張・要求として受け入れるも、それが製品、商品として完全に不適合品なのか否かは、また別にしっかりお客様と議論する、製造者にとっても「クレーム」(主張・要求) は存在すると思います。製造者からの「クレーム」こそが、過剰・異常品質を是正する第一歩になるのではと考えます。

2つ目は「サービス service」です。日本では「サービス」=「無償・無料提供」となり、お客様からの「ついでにそれも(無償で) やっておいて」が日本の「サービス」ですが、本来の「service」は「他者に対して行う労働・奉仕」が訳で、軍務や兵役も意味します。「service」=「タダ」ではありません。「service」の分、それに見合った対価が必要になってくるのが本来の「service」です。日本社会では以前はこの日本式「サービス」がかなり横行していたと思います。本年1月1日より改正下請法、略称「中小受託取引適正化法」、通称「取適法」が施行されました。今年に入り公正取引委員会によるこの「取適法」違反事例で、委託事業者が中小受託事業者へ金型を無償で(サービスで) 長期保管させている事例が相次いでいます。3月には大手段ボール製造販売会社が印刷版や木型を無償で保管させたとして、公取よ

り勧告を受けました。この「取適法」施行を機に、委託事業者と中小受託事業者の正しい「サービス」のあり方を確立して行ってほしいものです。

3つ目は「リーズナブル reasonable」です。よく「リーズナブルな価格」とか「よりリーズナブルになりました」などと使われ、日本ではお手頃な値段で安いものの価格のことを指します。しかし本来の「reasonable」の意味は、「理にかなった」「妥当な」「適正な」という意味です。「適正価格」の英訳は「reasonable price」です。「リーズナブル」は安いと混同されがちですが、意味合いは大きく異なります。「その価格である理由が説明できる」というニュアンスで使われることが多いそうです。日本では「価格が商品の価値に見合っていること」を通り越し、「それ以上にお得感がある状態」を含むようになってしまいました。

これも私見ですが、30年間の長きにわたるデフレ化、「良い製品とは品質も良く、値段も良い(安い)」が根付いてしまい、いつの間にか「適正価格」とは「購入者にとり、購入しやすい価格」、それが「リーズナブルな価格である」となってしまったのだと思います。物が安いと購入はしやすいのですが、経済は循環します。低価格では経済のパイが伸びません。企業は価格転嫁に消極的になり、「コスト削減」で賃金は上がらない、設備投資は行われない、結果、実質成長率は低調、1人あたりのGDPの国際順位2000年は世界2位でしたが、今や30位にも届きません(2025年世界38位)。間違った「リーズナブルプライス」が日本の成長を止めてしまったのだと思います。

ここ数年のインフレ化、物の値段は上がっていますが、国の経済が成長していくためには、これは正常なことです。

前述しました通り、今年も原材料の値段、人件費も上がっています。日本の経済、企業、ひいては皆さんの暮らしのためにも「reasonable price (適正価格)」で製品を販売することが今、我々に最も求められることであると考えます。

最後に、現時点で中東情勢の行く先は見えませんが、正確な情報を共有し、協力できることは協力し合い、この難局を皆さんとともに乗り切ればと切に願っております。

あらゆる環境測定から  
環境対策まで幅広く  
全国的にサポートいたします。

(作業環境測定・VOC等)

作業環境測定

- 会員他各社の工場内外環境測定  
70社×2回/年×40年=5,600回
- 工場内改善コンサル 100件  
局所排気装置・室内空調バランス等

VOC対策

- VOC対策のコンサルタント  
改善工事の基本設計・施工の紹介等
- VOC対策の前提となる実績データの取得  
測定実績：グラビア印刷機：1,074台  
ラミネート機：1,146台  
コーター機：818台  
(2021年3月末現在)



全炭化水素計(島津製)



ガスクロマトグラフィー

当分析センターは全国グラビア協同組合連合会で設立致しました分析会社です。

40年来、作業環境測定を通じて、各社作業環境の改善を継続しておりますが、平成18年の「大気汚染防止法」改正よりVOC対策に対し全国展開を図り、約3000件の測定実績を上げております。

オフセット印刷工場のリスクアセスメントのリスク見積りとして、トータルVOC(ノン換算値)測定も行っています。

また、上記の他に環境測定全般につきましても対処できる機能・体制をもっております。

## 株式会社 全国グラビア分析センター

〒130-0011 東京都墨田区石原1-16-1  
Tel:03-3624-4523 Fax:03-3829-3817  
E-mail : grv-analysis@almond.ocn.ne.jp

計量証明事業登録 東京都知事第1249号  
作業環境測定機関登録 東京労働局第13-35号  
労働衛生コンサルタント登録 厚生労働省 工-第186号

# GP JAPAN

全グラ情報

今月の表紙



3月24日に開催された第2回「グラビア産業ミライ共創工房」の様子。青年部のメンバー10名、(一社)日本印刷産業連合会より2名が出席し、グループディスカッションなどが行われた。詳細は9頁参照

2026年5月号 No.306 全国グラビア協同組合連合会

## CONTENTS

### 巻頭言 間違っていないか。日本の「claim (クレーム)」「service (サービス)」「reasonable (リーズナブル)」…………… ①

関東グラビア協同組合 理事長 吉原宗彦

### 全グラ

全国グラビア協同組合連合会：経済産業省を訪問、グラビア業界における石化原料調達困難を報告…………… ⑧

全国グラビア協同組合連合会青年部：第2回「グラビア産業ミライ共創工房」を開催～我々の愛する仕事を次の世代へ繋ぐために～…………… ⑨

報告者：全国グラビア協同組合連合会 専務理事 下田幸二

### Printing -寄稿-…………… ⑩

DIC COLORCLOUDによる印刷色指定の新しいワークフロー  
DICグラフィックス(株)

### 組合員・単組の近況…………… ⑬

関東グラビア協同組合：定例理事会を開催

### 酒は永遠の友 vol.16 田口薫…………… ⑭

## JFPI ..... 16

(一社) 日本印刷産業連合会：「印刷産業環境ビジョン2050」公表

## 2024年度PRTRデータ公表 ..... 17

都道府県別トルエン排出量上位は香川県、埼玉県、愛知県

## Data Watch 2026年1月データ ..... 36

## 紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2026年2月 ... 42

## GP工場認定制度無料説明会のご案内 ..... 46

## GP認定制度申請についてのお願い ..... 48

## Information

GRA、LCA調査でグラビア印刷の持続可能性を実証 ..... 35

日本包装学会、6月29日に第96回シンポジウムを開催 ..... 47

GPJAPANは全国グラビア協同組合連合会が発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで15,000円+税です。

購読および広告出稿を希望される方は、**全国グラビア協同組合連合会**まで。  
e-mail : zenkoku-grv@jfpj.or.jp



発行：2026年5月10日

発行人：田口 薫 (全国グラビア協同組合連合会会長)

発行所：全国グラビア協同組合連合会

〒130-0002 東京都墨田区業平1-21-9

あさひ墨田ビル

TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814

編集スタッフ：下田幸二 (全国グラビア協同組合連合会専務理事)

酒井由香 (全国グラビア協同組合連合会)

編集協力：(株)加工技術研究会

印刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2026

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPANの無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全国グラビア協同組合連合会

## 経済産業省を訪問、グラビア業界における 石化原料調達困難を報告

2026年4月14日（火）、全国グラビア協同組合連合会の田口 薫会長、吉原宗彦理事、下田幸二専務理事にて、経済産業省商務・サービスグループ文化創造産業課を訪問しました。

経済産業省より、荻野洋平文化創造産業海外需要開拓室長、塚越文也係長、上田明弥係員に出席いただき、昨今のグラビア業界における原料調達の困難な状況について話し合いました。各種原料の価格が暴騰していることはもとより、トルエン等溶剤の一部は5月には調達できない状況であること、フィルムも種類によっては調達が困難になってきていること等、グラビア業界の原料調達状況を報告しました。

また、グラビア業界における過剰品質の体質が製品ロスを発生させているので、現在のような原料調達困難な時期に見直しを図らなければならないことも報告しました。荻野室長からは、現時点では日本国内の原油、ナフサ備蓄量は足りているので、どの原料にて目詰まりが起きているのか、具体的事例を教えてくださいとお話をいただきました。

中東情勢が一刻も早く落ち着き、従来通り原料調達に悩まなくても良い環境に戻ることを祈るばかりですが、それまでは経済産業省とも情報交換を重ね、この難局を乗り切りたいと思います。



全国グラビア協同組合連合会青年部

## 第2回「グラビア産業ミライ共創工房」を開催 ～我々の愛する仕事を次の世代へ繋ぐために～

報告者：全国グラビア協同組合連合会 専務理事 下田幸二

2026年3月24日（火）午後3時より、DIC本社ビルにおいて、第2回「グラビア産業ミライ共創工房」を開催しました。（一社）日本印刷産業連合会より戸田部長、内藤部長をお迎えし、講師・助言をお願いしました。

青年部の若手経営者等が受講者として10名参加しました。本来、もう少し多めの受講者数の予定でしたが、直近の中東情勢の悪化による原料調達等の問題が発生し、急遽、参加できなくなった方が数名いました。

Aチーム「人手不足（人材育成）」、Bチーム「品質（自社の品質課題及び異常・過剰品質への対応）」、Cチーム「印刷関連機械の共同メンテ、部品融通等によるコスト削減」の3チームに分け、課題に関するブレインストーミングから次回までのアクションを決めるまでをチーム毎に議論しました。会の後半は、チームリーダーからの発表が行われ、各チームが議論した内容を披露しました。各人が同様の課題を抱えていることから、活発な議論が繰り広げられました。

終了後は、場所を移し懇親会を行い、一層の親睦を図りました。



# DIC COLORCLOUD による 印刷色指定の 新しいワークフロー

DIC グラフィックス(株)  
カラーソリューション開発グループ  
笠原雅弘、藤川伸央、森原康博、秦野哲洋

## 1. はじめに

DIC グラフィックスでは印刷の色工程全般を効率化するため「DIC COLORCLOUD」を2016年よりリリースしている。これはインキ・印刷方式・用紙により異なる色域をデータベース化することで、指定色の印刷再現可否判断を行い印刷可能な色に調整するシステムである。本発表では「DIC COLORCLOUD」に搭載した機能、提供されるワークフロー、および今後の展開について報告する。

## 2. パッケージ特色印刷の課題

特色印刷は、プロセス4色印刷では再現できない鮮やかな色を印刷したり、印刷色を安定して再現するなどの目的で利用されているが、工程・色再現などの面において次のような課題が考えられる。

- ①色の一貫性の維持：特定の条件下でしか再現できない色があるため、印刷条件（用紙、インキ、印刷方式）によって色の見え方が変わることがあり、色の一貫性を維持するのが難しい。
- ②色見本帳の再現：用紙の色再現域の違いにより、色見本帳の色が本印刷で再現できないことがある。また、色見本帳にない色を指定したい場合、新たな調色が必要となり時間とコストがかかる。

③色の共有と伝達の難しさ：クライアント、デザイナー、印刷会社間で色の情報を正確に共有するのが難しく、コミュニケーションエラーが発生し、やり直しの時間とコストがかかる。

④色校正の工数：再現が難しく色の修正が発生した場合、印刷と立ち合いを何度も行うことになり、時間とコストがかかる。

これらの課題に対し、印刷業界における色の一致と効率化を図るための新しいワークフローを提供するために、DIC COLORCLOUDを開発した。

## 3. DIC COLORCLOUD の概要

DIC COLORCLOUDは、印刷インキで再現できる全ての色のデータベースであり、オフセット・グラビア・フレキソ・デジタル印刷機の各印刷方式の色再現に必要な色情報を用意しており、簡単に色再現が可能。

- ①DIC カラーガイドに囚われない、無限の色数：多様な印刷方式・用紙に対応し、異なる印刷方式間の色一致を可能とする（図1）。
- ②正確な色指定・正確な色情報・正確なインキ作成：耐性などパッケージの要求用途に応じた色彩情報に対応。
- ③正確・効率的な色の伝達：印刷に携わる

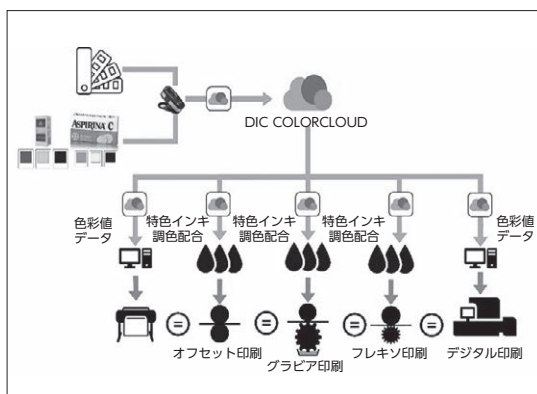


図1 Color matching between different printing methods

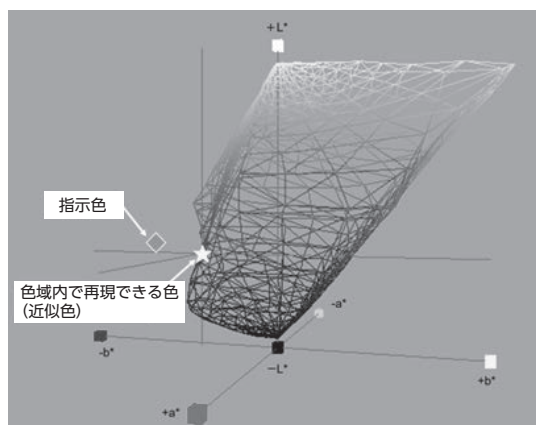


図2 Color gamut visualization

方たち（クライアント・デザイナー・営業・製版・印刷）の間で最終印刷の色の情報を共有。

#### 4. DIC COLORCLOUD の機能

①色の可視化と判断：指定された色に対し、印刷方式と耐性要件を選択して、特色印刷もしくはプロセス4色印刷で再現可能かをLab色空間で可視化（図2）。

②印刷可能色提示：色域外の場合、印刷可能な近似色、および周辺色のプロセス4色の網点%を独自のアルゴリズムにより提示（図3）。

③色情報の表示：指定された色の特色インキの初期配合や、CMYK各色の網点%を表示。

④色情報の共有：クラウドサーバーを使用して、利用者間で色情報をリアルタイムに共有。

⑤CCMとの連携：印刷可能と確認した色のデータをCCMに投入し、追い込み計算が可能。

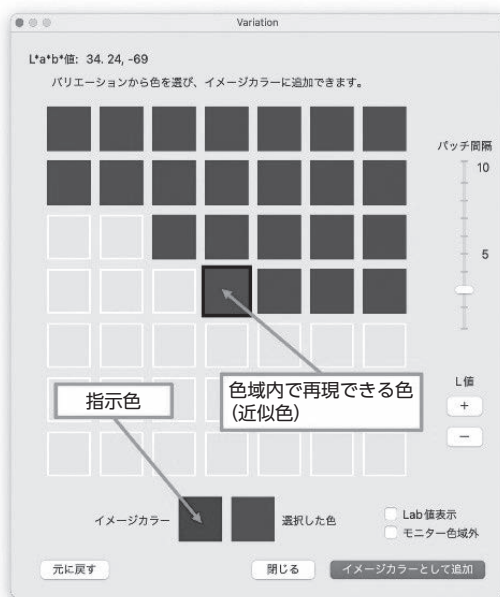


図3 Display of printable colors

#### 5. DIC COLORCLOUD によるワークフロー

DIC COLORCLOUDによる色再現プロセスを図4に示す。事前に色再現可否を判定し、印刷可能な色に調整した色の情報をデジタル校正機やCCMと共有することに

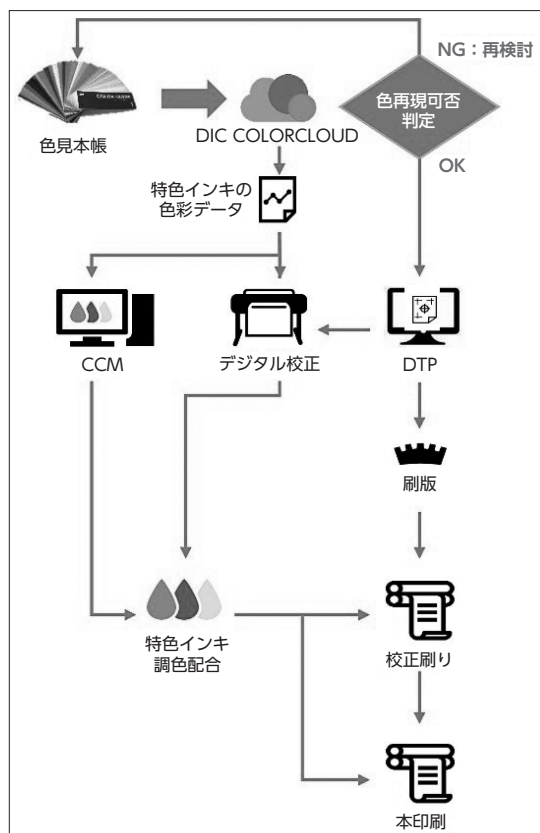


図4 Workflow by DIC COLORCLOUD

より、下記の効果が期待できる。

- ①印刷回数や立ち合い回数の削減：工程の後戻りがなくなることにより、資材の使用量削減や印刷機の稼働率アップ。
- ②色コミュニケーション効率化：打ち合わせやサンプル準備・発送等にかかる時間コストの削減。

③色のターゲットにたどり着くまでの時間が早くなり、印刷資材の消費削減、環境負荷対策など業務の効率化と環境対応の両立。

## 6. 今後の展開

色再現判定および印刷可能な色への調整は、特色印刷ワークフローの効率化だけでなく、特色をプロセスカラーに置き換える検討も可能となり、生産コスト・環境配慮の面などから下記のような効果が期待できる。

- ・色替えコストの削減（時間と資材）
- ・インキ代の削減（低コストインキへの置換）
- ・印刷残インキ、インキ在庫低減
- ・印刷納期の短縮
- ・温室効果ガス排出量削減（色替えによる洗浄回数の削減）

印刷に携わるより多くの方たちに使っていただくために、当社はシステムの汎用性・利便性を向上するべく、対応デバイスの拡張など今後もさらなる開発を継続していく。

DIC グラフィックス(株) カラーソリューション開発グループ

東京都中央区日本橋 3-7-20

笠原雅弘

masahiro-kasahara@ma.dic.co.jp

# 組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合

## 定例理事会を開催

関東グラビア協同組合（吉原宗彦理事長、東京加工紙㈱）は、2026年4月9日（木）午後3時～5時まで、12名の理事・監事・顧問の出席の下、組合事務所とZoomにて定例理事会を開催した。

冒頭、吉原理事長の続き、下田幸二専務理事より、5月14日に東京・第一ホテル両国において開催される関東グラビア協同組合通常総会、6月11日・12日に北海道において開催される全国グラビア協同組合連合会通常総会のスケジュールや今後の開催方法などについて説明があり、意見を募った。また、6月29日開催「関東グラビア協同組合セミナー」の説明が行われ、講演内容について討議された。その他、外国人技能実習機構や製袋業界の近況について報告や、3月24日開催の第2回「グラビア産業ミライ共創工房」（9頁参照）について報告あった。

（一社）日本印刷産業連合会関連では、3月11日開催のステアリング・コミッティ、「印刷産業環境ビジョン2050」などについて報告があった。

吉原理事長からは取適法に関する情報の共有、中東情勢悪化に伴う原料調達不安に関して、安永副理事長や田口最高顧問からは調達困難溶剤等や過去の原料調達困難時の対応などについて説明があり、情報交換が行われた。

出席理事・監事・顧問	事務所
	吉原宗彦理事長（東京加工紙㈱）
	安永研二副理事長（東包印刷㈱）
	川田雄治副理事長（トーホー加工㈱）
	田口 薫最高顧問（大日本パッケージ㈱）
	山下雅稔理事（株巧芸社）
	千田 敦理事（株東京ポリエチレン印刷社）
	福島 潤理事（株東和プロセス）
	佐藤裕芳監事（株千代田グラビヤ）
	岸本一郎監事（株カナオカ）
	下田幸二専務理事（関東グラビア協同組合）
	Zoom
	村野 剛理事（信和産業㈱）
柴田里香理事（弁護士）	

# 酒は永遠の友

vol.16

田口 薫

酒はいつからあるのかと考えたが、何万年前からあるのだろうと思う。あらゆる果物の果皮には天然の酵母が付いている。洗わず潰して適温で放置すれば果実の糖分やでんぷん質が酵母菌で糖化→アルコールというプロセスで果実酒になる。ワインにしても病害虫を防ぐために農薬を作り、果実をきれいに洗って酵母も洗い流すから人工的に酵母を加える。これが一般的なワインで、無農薬、天然酵母で作ったワインがオーガニックワインだ、と私は理解している。

社内に長野市生まれの女性が居られたので、故郷の庭先のクズリンゴをたくさん送ってもらって、そのまま潰して砂糖少々と水を加え、30℃くらいになるよう電気毛布を巻いて温度を調節してみた。入れ物の中のリンゴ果汁はブツブツと音を立て始める。アルコール度数は？ と心配したが、適当なところで絞る。といっても道具がない。なんとか絞って瓶に詰めて冷蔵。リンゴジュースの濁ったようなものができた。私は実験的にやってみたが、法に触れる場合があるのでおすすめはできない。発酵の手軽な体験としては、町のクラフトビール店で体験させてもらう方法があるだろう。



搾りカスに砂糖と水を加えるとまた発酵が始まる。これで取ったのがカストリだ。カストリとは、清酒を絞ったカスを発酵させて蒸留してたもので、「カストリ焼酎」として戦後によく売れた。エロっぽい雑誌をカストリ雑誌と言ったが、カストリは正しい方法で、フランスのマルル、イタリアのグラッパもワインの絞りカスから蒸留したもので高級なものも1本数万円もする。

フランス北部はブドウができないのでリンゴ酒を作る。リンゴ酒から作った蒸留酒をカルバドスといってデパートでは売っている。しかし、フランス製は高い。ニッカのカルバドス「XO」（25年以上熟成）は3,000円台で手に入る。



30年ほど前、東急ハンズの英国展でビールの自家醸造キットなるものが売っていた。直径15cmくらいの大きめの缶の中にモルトが入っている。缶を開けて中身を容器に入

れてみると、薄い茶色の水あめ状のものが入っていた。なめてみると甘く苦い。甘いビールの味。英国風ビール＝エールビールだと思った。日本でこのキットを適法で売るということは、これからできるビールはアルコール度数1%以下だからだ、と納得した。

しかし、当時はノンアルコール、いわゆるアルコール0%のビールは日本にはなく、宝酒造の「タカラバービカン」が1%未満でゴルフ場等で飲むことができたが、売れ行きは芳しくなかった。宝酒造の工場は、キリン、アサヒ、サッポロにまったく歯が立たず撤退する。その工場をそっくりサントリーが買い、外観に目立つように巨大な電飾看板を取り付け、通行する車にサントリーのビール挑戦を強く印象付けた。宣伝上手なサントリーだから、ウイスキーの販売網で売り込みを図ったが、結果はサッパリ。ビール事業の赤字が黒字転換するのは数十年後という、途方もない年月を要した。



日本のビールは麦芽＋コーンスターチ＋米で、ドイツは麦芽100%。アメリカは麦芽＋コーンスターチだ。日本料理には米が入っていた方が苦みが穏やかで合う。サントリーは先発3社と違いを出さなければと、ドイツ流の麦芽100%にこだわり、「モルツ」と名付けて売り出して、少しずつファンを増やしたように私には見えた。ビール販売の最前線は、先発3社も強者を揃えてシェア競争を繰り広げた。キリンが一強で60%のシェアを長らく守り、それにアサヒが住友銀行の副頭取の樋口廣太郎氏を社長に迎えて、シェアを奪いにかかる。樋口氏の前任の住友出身の村井 勉氏に招かれての就任だったが、当時、住友銀行の“天皇”と言われた磯田一郎氏のやり方にクレームを付けて、住銀を追われたからでもあった。磯田氏は住銀を上位行に発展させたが、晩年は反社会的勢力との関係やイトマン事件で引退せざるを得ず、住銀、中興の祖の名声を汚した。



樋口氏は持ち前の明るさで現場の技術者の話をよく聞き、より飲みやすく飽きない味として、あるテスト品を気に入って主力として売り出した。それが「スーパードライ」で、大ヒット、キリンの牙城を一気に崩した。私はそれほどビール党でもないので、特に深い印象はない。アサヒは樋口さんばかりが功労者としてもてはやされるが、先輩の村井氏や陸軍士官学校出の中條高德副社長の支えもあったに違いない。銀行の講演会や著書で中條さんを知ったが、最晩年、高島屋の食堂で奥様と2人で東京・麻布「野田岩」の鰻を召し上がっておられたお姿を拝見した。

ところで、サントリーがいかにモルツの売上を向上させたかは知らないが、アサヒの某氏はサントリーは関西商法でえげつないとつづやいているのを聞いたことがある。今やJRの駅では「プレミアムモルツ」が他のビールを圧倒しているように見える。